

熊谷南小スタンダード

熊谷南小学校に通うと幸せになれます



知

徳

体



熊谷市立熊谷南小学校

Kumagaya Minami Elementary School

Contents

もくじ

I 生活編

1	生活	5
2	図書	9
3	給食	10
4	清掃	12
5	安全	14
6	保健	17

II 学習編

1	学習に使うもの	21
	(1) ノートの選び方		
2	学習の準備	22
	(1) 筆記用具の中に入れるもの		
	(2) 休み時間にすること		
	(3) 用具の選び方		
	(4) 机の上の整理の仕方		
	(5) 引き出しの中の整理の仕方		
	(6) 学校に置いていくもの		
3	学習の時間	26
	(1) 本の持ち方		
	(2) いすの座り方		
	(3) 鉛筆の持ち方		
	(4) 授業の始まり方と終わり方		
	(5) 声の大きさ		
	(6) 発表の仕方 あいうえお		
	(7) 話の聞き方 あいうえお		
	(8) ノートの使い方		
	(9) 書写と書きぞめの準備の仕方		
4	家庭学習の手引き	33
	・家庭学習の意義		
	・家庭学習のポイント		
	・家庭学習の方法		

「熊谷南小スタンダード」について

熊谷南小学校は、子供たち一人一人に知・徳・体のバランスのとれた学力を身に付けさせ、学力面でも運動面でも輝かしい記録を残しています。しかし、それは、一朝一夕に成し遂げたものではありません。保護者の皆様と地域の皆様に支えられ、歴史と伝統を築いてきたのです。幡羅高等小学校の「家庭心得」(明治31年)にあるとおり、「家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る」ということを実践してきた結果です。

今後も引き続き、学校と保護者の皆様とが協力し合いながら、しっかりと教育を進めて参りましょう。

その方法が具体的に記されているのが「熊谷南小スタンダード」です。学習面や生活面において、子供たちに身に付けさせたい事項を具体的に示し、子供たち一人一人に定着させることをねらいとしています。

ですから、この冊子は保護者の皆様や子供たちが手に触れることができる場所に保管し、親子で話題にし、実践していただきますようお願いいたします。

令和5年4月

熊谷市立熊谷南小学校長

I 生活編

「江戸しぐさ」は、今風にいえば江戸町民の「公衆マナー」であり、かつ「コミュニケーション・スキル」とでもいうべきものです。狭い江戸の町で「江戸っ子」と呼ばれていた人々が使っていた世間との付き合い方や他人とのかかわり方などの所作全般を言います。この「江戸しぐさ」は、日本特有の「相手を思いやる心」を形にしたものなのです。

例) 七三歩きしぐさ（「七三の道」）

「七三の道」は、道路を歩くとき真ん中をのっしのっしと歩くのではなく、道路の三割を使って歩き、残りの七割は急用の人など他の人のために空けておくということです。

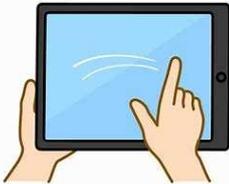
特に現代は車社会です。右側を七三歩きすることによって、交通事故を回避するという効果もあります。人の為のはずの行為が自分のためにもなっていることになります。熊谷南小学校では、歩き方だけでなく、相手を思いやる心も育ててほしいという願いをこめて、このしぐさを

「右の右」とっています。



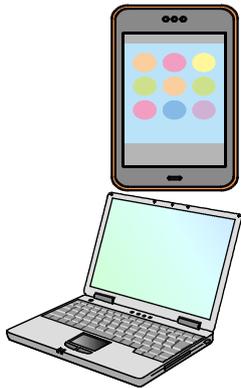
1 生活

項目	内容
<p>(1) 登校・下校</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 黄色い帽子をかぶり、通学班で登校する。 ② 登校は、7：40～7：50の間にする。 ③ 忘れ物を取りにもどらない。 ④ 登下校は、決められた通学路を通る。 ⑤ 地域の方や、熊谷南小見守り隊の方へ元気にあいさつをする。 ⑥ 下校は、学年ごとに並んで帰り、寄り道はしない。
<p>(2) 昇降口・靴箱の使い方</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 靴のどろをよく落とし、昇降口を汚さない。 ② 靴はつま先を奥にして、かかとを靴箱のふちに揃える。 ③ 上履き、下履きの区別をしっかりとつけ、土足をしない。 ④ 傘はひもをしっかりと結び、学級の傘立てにまっすぐ立てて置く。(持ち手が手前を向くように)
<p>(3) 廊下・階段ベランダの歩き方と使い方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 廊下や階段は、静かに右側(右の右)を歩く。 ② 廊下や階段は、大声を出したり、ふざけたり、遊んだりしない。 ③ 体育館・特別教室等に移動するときは、クラスごとに並び、無言で行く。 ④ 階段の手すりに登ったり、すべったりしない。 ⑤ 非常ベル、消火器、防火扉などにさわらない。 ⑥ 廊下・ベランダは、走ったり、遊んだりしない。 ⑦ ベランダの手すりによじ登ったり、身を乗り出したり、物を落としたりしない。
<p>(4) 保健室の使い方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 担任の先生に言ってから、利用する。 ② 保健室への出入り方 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「失礼します。○年○組の◇◇です。」 「(例) 頭が痛くて来ました。熱をはかってください。」 ↓ 用事が済んだら 「ありがとうございました。失礼しました。」と言って出る。</p> </div> ③ 自分のことは、自分で話す。 ④ 保健室の中では、静かにする。 ⑤ 保健室にきた理由(けがの種類・場所・時間など)を記録簿に記入する。 ※付き添いは、必要のあるときだけとする。(基本は、なし)

<p>(5) 特別教室の 使い方</p>	<p>① 特別教室・資料室には、先生の許可なしで入らない。</p> <p>② 使用後は、使った用具をもとの場所にもどし、机や椅子の整頓をして、窓を閉める。</p> 
<p>(6) 体育館の 使い方</p>	<p>① 先生の許可なしで使わない。</p> <p>② ステージの上や体育用具室では遊ばない。</p> <p>③ 使用後は、使った用具の後始末をしっかりとる。</p>
<p>(7) 校庭の 使い方</p>	<p>休み時間</p> <p>① 正門・西門の近くや駐車場、1年教室前の築山、プールの周りなど人目のつかないところでは遊ばない。</p> <p>② 花壇には入らない。</p> <p>③ クラスのボールを使う。</p> <p>④ 13：05まで校庭に出ない。</p>  <hr/> <p>授業中</p> <p>① 先生の指示に従い、安全に運動をする。</p> <p>② 体育で使った用具の後始末をしっかりとる。</p> <hr/> <p>放課後</p> <p>① 校庭で食べ歩きをしない（学校に食べ物を持ってこない）。</p> <p>② 自転車は飼育小屋のそばに並べて置き、校庭では乗り回さない。</p> <p>③ 正門・西門の近くや駐車場、1年教室前の築山、プールの周りなど人目のつかないところでは遊ばない。</p> <p>④ 花壇には入らない。</p> <p>⑤ ボールは家から持ってきたものを使用する。</p>

<p>(8) プールの 使い方</p>	<p>① プールには、先生の許可なしで入らない。 ② プールサイドでは、走らず、ふざけたり、遊んだりしない。 ③ 飛び込みをしない。</p>
<p>(9) トイレの 使い方</p>	<p>① 使用後は、手でハンドルを押し、必ず水を流す。 ② 備え付けのペーパー以外使用しない。 ③ 失敗をしたときは、そのままにしないで自分で後始末をする。 ④ ナプキンは、ペーパーに包んで三角コーナーに入れる。</p>
<p>(10) 水道の 使い方</p> 	<p>① 水は大事に使い、出しっ放しにしない。 ② 墨のついた筆や硯は、流しで洗わない。 ③ 枯れた花、給食の残りかす、ぞうきんのくずなどの後始末をしっかりとる。</p>
<p>(11) 職員室の 出入り</p> 	<p>① 職員室には、用事のあるとき以外入らない。 (ランドセル、帽子は廊下に置く) ② 会議中は、急用以外出入りしない。 ③ 職員室への出入り方</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ノックをする。→ドアを開け「失礼します。」とあいさつをする。 ・ドアを閉め用事を言う。 「〇年〇組の◇◇です。〇〇先生に用事があってきました。」 ・用事が済んだら入り口のところで「失礼しました。」とあいさつをする。→静かにドアを閉める。 </div>
<p>(12) 下校後に ついて</p> 	<p>① 外出するときは、必ず行き先・帰宅時間・誰と行くかを話してから出かける。 ② 一人きりでは、遊ばない。 ③ 子供だけで、デパートや映画館・ゲームセンター等へは行かない。 ④ 荒川河川敷では、グラウンドよりも低いところで遊ばない。 ⑤ 学校に遊びに来るときは、食べ物を持ってこない。 ⑥ 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶる。 ⑦ 自転車は、飼育小屋のそばに並べておく。 ⑧ 「よい子のみなさん・・・」の熊谷市の放送は、家で聞くようにする。 ⑨ 忘れ物を取りに来たときは、必ず事務室（職員室）の先生に言ってから教室に行く。取りに行った後も、事務室（職員室）に声をかけて帰る。</p>

(13) 携帯電話・スマートフォン・インターネットの使い方



- ① 家族との約束を決めてから使う。
使う時間、使う場所、使う相手、閲覧するサイト等
- ② 有害サイトにアクセスしないようにフィルタリングをかける。
- ③ インターネットを使って、うそ、悪口や個人情報（氏名、生年月日、住所、電話番号、写真、パスワード等）を書き込まない。
- ④ ウェブページの他人が書いた文章や絵、写真などは著作権があるので、勝手に使わない。
- ⑤ ネット上で知り合った人とは会わない。
- ⑥ 知らない人からのメールは絶対に開かない。
- ⑦ 知らない人からのメールなどに書かれているURL（ホームページのアドレス）には、アクセスしない。
- ⑧ チェーンメール（「このメールをできるだけたくさんの人に送ってください。」などと書かれたもの。）は、転送せずに無視する。
- ⑨ 利用した覚えがない架空のインターネット利用料金の請求を受け取ったときや、脅迫的なメールを受け取ったときは、家の人と先生に相談する。
- ⑩ 困ったことがあったら、すぐに家の人と先生に相談する。
- ⑪ 携帯電話やスマートフォンを学校に持ってこない。
- ⑫ スマホ使い方宣言を守る。

(14) 「4つの実践」と「3減運動」を実践する

(大人が手本となって)

4つの実践（アクセル）

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

3減運動（ブレーキ）

- テレビの時間を減らします。
- ゲームの時間を減らします。
- スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。



減らした時間で

家族との会話の時間を増やします。
予習・復習の時間を増やします。
読書の時間を増やします。

(15) その他



- ① 朝会や集会などは5分前行動を心がけ、無言で集合する。
- ② 友達の名前を呼ぶときは「さん」をつけ、正しい言葉遣いをする。
- ③ 体育着以外の時は、名札を左胸につける。
- ④ 学習に必要なもの、許可されていないものは、持ってこない。
→冬場の使い捨てカイロ・リップクリームなどは、保護者から連絡があった場合のみ許可する。

2 図書室の利用

熊谷南小学校の図書室には、わたしたちの心を楽しく豊かにしてくれる物語や童話のほかに、授業と関連する本や調べ学習に活用できる本がたくさんあります。

(1) 図書室を利用する時の約束

- ☆ 図書室に入る前には、手をきれいに洗います。
- ☆ みんなの本です。大切に使います。
- ☆ よい姿勢で静かに読みます。
- ☆ 本を借りるときは、図書袋（布の袋）で持ち運びます。
- ☆ 本を返す時は、もとの場所へきちんと返します。
- ☆ 図書室を出る前に、使ったいすを整頓します。



(2) 利用のきまり

- ・ 貸し出しと返却
火・木曜日の昼休み（13:05～13:20）
- ・ 貸し出し期間
図書室の本 1人1冊 1週間以内



(3) 本を借りる時、返す時

☆ 第1図書室の本

〈本の借り方〉

- ① 本を選ぶ。
- ② 借りた本の場所に代本板を入れる。
- ③ 図書カードに「本の番号・書名・貸し出し日」を記入して、本とカードを図書委員に見せる。（図書委員に確認印を押してもらう。）
- ④ 図書カードを「今日借りたカード」のケースに入れる。
- ⑤ 本を図書袋に入れて借りていく。

〈本の返し方〉

- ① 自分の図書カードをクラスのケースから出す。
- ② 返却日を記入し、図書委員に本とカードを見せ、印を押してもらう。
- ③ 代本板をとり、借りていた本を元の場所にきちんと戻す。
- ④ また新しく借りてもよい。

☆ 第2図書室の本（みなみ文庫・リケン文庫・理科、社会、総合に役立つ本）

- ・ 各教室で学習に役立つ図書がたくさんあるので、必要に応じて利用する。
- ・ 教室で読んだり調べたりする場合は、担任の先生の指導のもと利用する。

(4) 代本板

- ・ 代本板は、教室で保管する。
- ・ 長期休業前に2冊借りる時には、板目表紙で作った代本板を使用する。

(5) 読書記録冊子「こころの木」（ピンク→黄→緑→青）

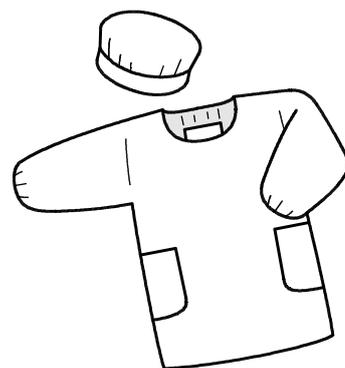
- ・ 本を読んだら、読書記録冊子「こころの木」に記入していく。
- ・ 「こころの木」は、連絡袋に入れて保管する。

3 給食

(1) 準備

- ・身じたく ⇒ エプロン・帽子・マスク・ハンカチ
- ・石けんで手を洗い、消毒をする。
- ・机の上は、ランチョンマット・コップ・はしを置く。
- ・**当番** → 並んで給食室へ取りに行く。右側（**右の右**）を歩く。

他の人 → 席について静かに待つ。



(2) 配ぜん

- ・全員で、協力して配ぜんする。（静かにすばやく）
- ・食べきれぬ量を考えて盛りつける。

(3) 食事

- ・全員で「いただきます」をする。（12：30）
- ・**放送中は、耳を傾け、話をしないで静かに食べる。**
- ・食事のマナーを守り、楽しく食べる。
 - ① よくかんで食べる。
 - ② はしやスプーンを正しく使う。
 - ③ 良いしせいで食べる。
 - ④ 無言で食べる。
- ・デザート等は最後の方に食べる。
- ・おかわりは、みんなができるようにクラスでルールを決める。
- ・全員で「ごちそうさま」をする。（12：50）



(4) 歯磨き

- ・片付けが終わった人から給食着を脱ぎ、歯磨きをはじめる。（12：55）
- ・着席したままコップにくんだ水でうがいをし、流しではコップの水を流し洗うだけにする。



(5) 片付け(クラス)

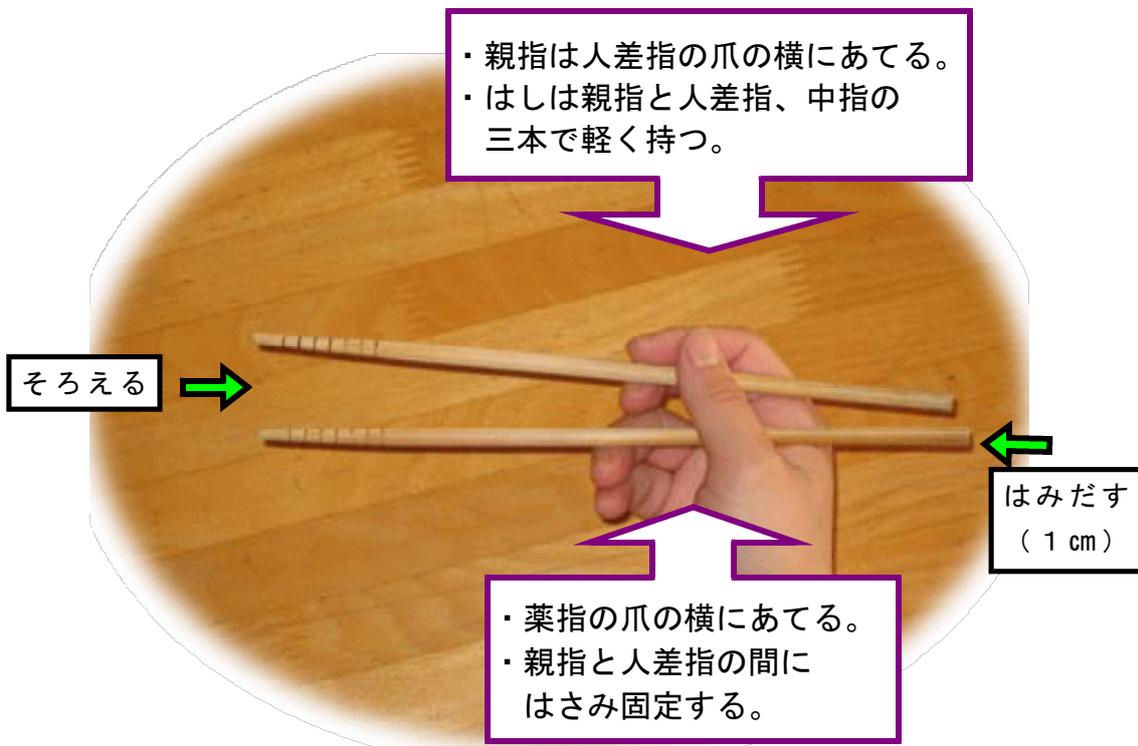
- ・食器に残菜が残らないようにする。
- ・牛乳パックは小さくたたんで袋にまとめる。
- ・残した物は家に持ち帰らず、丸食缶にもどす。



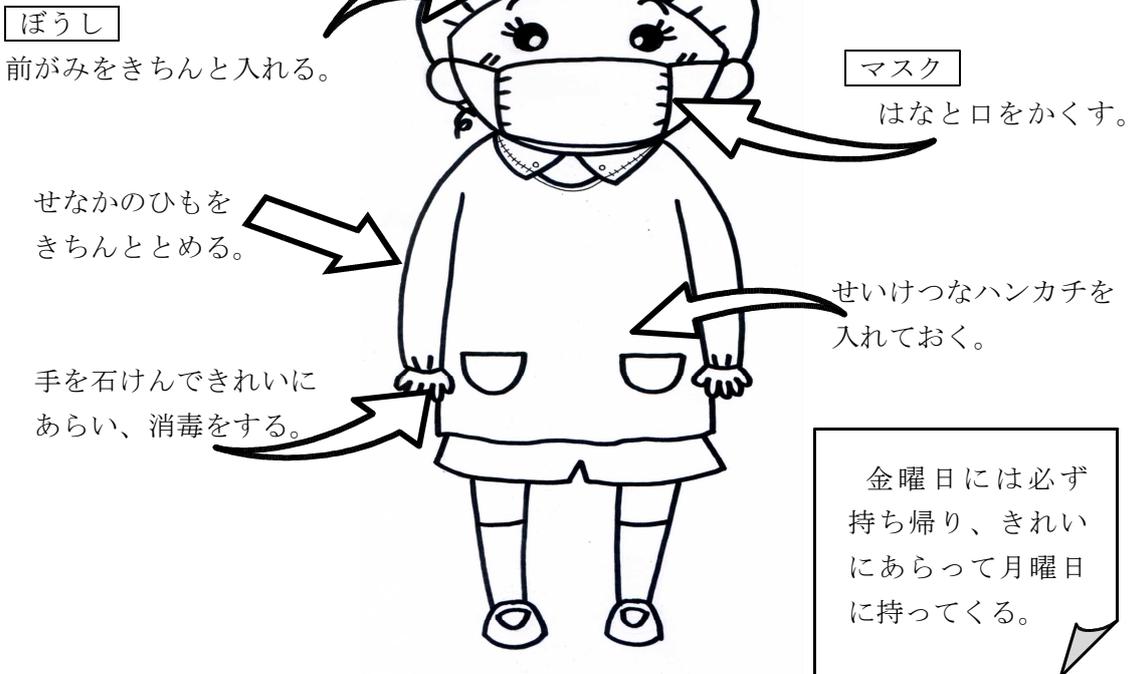
(6) 片付け(給食室)

- ・並んで給食室へ戻しに行く。右側（**右の右**）を歩く。（13：00 厳守）
- ・ゴミや残ったものは、決められた場所に返す。
- ・走らずに教室へ戻る。

(7) はしの持ち方



(8) みじたく



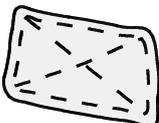
4 清掃

年間清掃重点目標

心も校舎もみがいてみがいてピカピカに！

- 1 3つの「て」の推進
 - ・体育着で
 - ・ひざをついて
 - ・無言で
- 2 みんなで協力してそうじをしよう
- 3 そうじ用具を大切に使う



項目	内容
(1) 身じたく	① 体育帽子をかぶる。 ② 清掃に適した服装で行う。 (原則私服。スカートは、はきかえる。)
(2) ほうきの使い方 	① 持ち方・はき方 ・ほうきの向きを確認して、ほさきが全部床につくようにして、利き手ではく。 ② ほうきの種類 ・座敷ほうき : 教室をはく。ゴミをまき上げないように、静かにこきざみに使う。 ・シュロほうき : コンクリートやタイルの上をはく。 ・竹ほうき : 屋外の落ち葉やゴミをはく。
(3) ちりとりの使い方	① 柄を持って、ちりとりの面を床にピッタリつけて、後ろに2、3回引きながらゴミを全部入れる。
(4) ぞうきんの使い方 	① 洗い方 : 汚れが落ちるように、両手でぞうきんをこすり洗う。 ② しぼり方 : たたんで両手の平にのせて内側にしぼる。 ③ 使い方 : 広げたぞうきんを二つ折りにして、力を入れてふく。汚れたらきれいな面にして4回使う。 ④ 干し方 : 広げてシワをのばし、他のぞうきんと重ならないように干し、洗たくバサミで止める。
(5) ゴミの捨て方	① ゴミは袋に入れ、13:10~13:20の間に図工室奥まで持って行く。(毎日)
(6) そうじ用具の片付け方	① 清掃場所のロッカーにしまう。 ・用具はきちんとつりさげる。 ・ぞうきんは、ぞうきんかけにかけて干す。 ② 汚れたバケツの水はシンクの三角コーナーに流す。

項 目	内 容
<p>(7) 清掃の流れ</p> <p>はじめのあいさつ ↓ 分担確認 ↓ 無言清掃開始 ↓ <内容参照> ↓ 無言清掃終了 ↓ 用具の片付け ↓ 反省カードの項目を基に、声を出して確認をしながら掃除の反省をする。 ↓ 元気よく 終わりのあいさつ</p> 	<p>(1) 教室・特別教室</p> <p>① 机、イスを移動する。 ② ほうきで床をはき、ゴミを取る。 ③ 床はひざをつき、後ろに下がりながらふく。 ④ 机、イスを元にもどす。 ⑤ 机の上をふく。(水ぶき) ⑥ ゴミは所定の場所に捨てる。</p>
	<p>(2) ろう下・階段</p> <p>① ほうきではく。(上から下) ② 床やおどり場、段、手すりをふく。(水ぶき) ③ ゴミは所定の場所に捨てる。</p>
	<p>(3) 流し</p> <p>① ごみをとる。 ② 流しの汚れをたわしやスポンジでおとす。 (汚れのひどいときのみクレンザーを使う) ③ 三角コーナーのゴミを捨てる。 ④ 流しのまわりをきれいなぞうきんでふく。</p>
	<p>(4) トイレ</p> <p>① ほうきではき、ゴミをとる。 ② 便器の中を柄つきタワシでみがく。 ③ 便器のまわり、便座の裏もぞうきんでふく。 ④ ゆかを水ふきする。 ⑤ トイレトペーパーの補充をする。(芯は保健室へ) ⑥ ゴミは所定の場所に捨てる。 ⑦ ゴム手ぶくろは、指を上にして洗たくばさみでとめて保管する。</p>
	<p>(5) 昇降口・玄関</p> <p>① たたきのゴミ、土、砂をはく。 ② たたきを水ぶきする。 ③ かさ置き場を整頓する。 ※職員の外玄関は、1週間に1回ホースで水を流し、デッキブラシできれいにする。</p>

※ワックスがけ・・・年1回実施(3月)

5 安全

	内 容
(1) 地震	<ul style="list-style-type: none"> ① ドアの近くの人が、ドアを開ける。 ② カーテンは閉まっていれば、そのままにする。 地震が落ち着いたら、カーテンは開ける。 ③ 落ちてこない、倒れてこない、移動してこない安全な場所を確保し、ダンゴムシかサルのポーズで頭部を守る。 ④ 放送や先生の指示を静かに聞く。 ⑤ ぼうしをかぶり、ろうかに並ぶ。 ⑥ 「お・か・し・も」の約束を守って避難する。 (おさない・かけない・しゃべらない・もどらない) ⑦ 上ばきのまま校庭に出て、第1避難所にむかって走る。 ⑧ 名前の順にならび、静かに待つ。
<p style="text-align: center;">☆子供だけにいる ときには</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 家の中にいたら・・・ 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。 ② 家の外にいたら・・・ ブロック塀や看板、割れたガラスなど、倒れたり落ちてきたりするものから離れる。 ③ 電車・バスに乗っていたら・・・ 急ブレーキに備えて、つり革や手すりなどにしっかりつかまる。 ④ 人がたくさんいるところ（デパートなど）にいたら・・・ あわてて出口に走り出さず、係りの人の指示にしたがって、落ち着いて行動する。 <p>☆ 家族で話し合っ、非難場所を決めておきましょう。</p>
(2) 火災	<ul style="list-style-type: none"> ① まどの近くの人がまどをしめて、カーテンをたばねる。 ② 放送を聞き、先生の指示にしたがう。 ③ ハンカチなどで口と鼻をおさえ、静かにろうかへ並ぶ。 ④ ドアの近くの人が、ドアをしめる。 ⑤ 「お・か・し・も」の約束を守ってアライグマのポーズでひなんする。 ⑥ 上ばきのまま校庭に出て、第1避難所にむかって走る。 ⑦ 名前の順にならび、静かに待つ。
<p style="text-align: center;">☆子供だけにいる ときには</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分達で火を消そうとせず、とにかく逃げる。 ② すぐに大人に知らせる。 <p>☆ 子供だけにいるときに、火は絶対に使いません。</p>
(3) 不審者	<ul style="list-style-type: none"> ① 放送を聞き、どこで何がおきているのか確認する。 ② 先生の指示を静かに聞く。 ③ 「お・か・し・も」の約束を守って避難する。 (おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)

	<p>④ 上ばきのまま校庭に出て、第1避難所にむかって走る。 ⑤ 名前の順にならび、静かに待つ。</p>
<p>☆子供だけにいる ときには</p>	<p>① 「いかのおすし」を守る。 いか・・・知らない人についていかない の・・・他人の車にのらない お・・・おおごえを出す す・・・すぐ逃げる し・・・何かあったらすぐ知らせる</p> <p>☆登下校は必ず複数で、人ごみには1人で出かけないようにします。</p>
<p>(4) 雷、竜巻、 大雨</p>	<p>① 安全が確認できるまで学校で待つ。 ② 先生の指示に従って行動する。 (メールで対応をお知らせします。)</p>
<p>(5) 大規模災害</p>	<p>地震発生対策ガイドラインに従う。(裏面参照)</p>
<p>(6) 自転車の 乗り方</p>	<p>① 交通ルールを守る。 「とびだすな とびだすな 絶対とびだすな」 「止まる、見る、待つ、たしかめる」</p> <p>② ヘルメットを必ずかぶる。 ③ 自転車乗りのはんいを守る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>○ 1. 2. 3年 家の人といっしょに乗る。</p> <p>○ 4年 町内の安全な道路で乗る。</p> <p>○ 5. 6年 学区内の安全な道路で乗る。</p> <p style="text-align: center;">交通の激しい国道、県道で乗るのは禁止</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div>



熊谷南小学校

地震発生対策ガイドライン



- 児童の無事を確認し、冷静な行動で安全な場所に避難させる。
- 施設・設備の被害状況等を点検し、状況に応じて適切に対応する。
- 家庭との連絡方法の確認を徹底する。
- ※ 体育館は、耐震化工事が終了しているため児童待機場所とし、下校を判断する。
- ※ 登下校時では、児童自身で学校・荒川中学校・堤公園・伊勢町ふれあい公園・宮前公園・荒川公園・家に向かうかの判断をする。
- ※ 地震発生翌日、登校できない場合は原則として自宅待機とする。
- ※ 地震の震度は、NHK（TV）の地震速報（熊谷市の震度）とする。



地震の揺れの大きさ	学校	保護者
<p>震度3以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害報告なし。 ○ 屋内にいる人のほとんどがゆれを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の安全を確保させる。 ○ 被害の状況に応じて、一時的に安全な場所に避難させる。 ○ 通常の授業を行う。 ○ 下校時の注意をし、通常の下校をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メールや電話が通じない場合でも ○ 留守になる場合は、あらかじめ、知人へ依頼するなど児童帰宅後、なるべく一人にならない配慮をする。
<p>震度4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害報告なし。 ○ 一部の人は身の安全をはかろうとし、寝ている人のほとんどが目覚めます。 ○ 場所によっては、ものが落ちる。 ※ テレビやラジオ等の情報に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯メールを配信し、ホームページに掲載する。 ○ 児童の無事を確認し、一時的に安全な場所に避難させる。 ○ 原則として通常の授業を行う。 ○ 下校時の注意をし、必要に応じて地区別に一斉下校させる。 ○ 教職員で下校指導にあたる。 ○ 施設設備の点検を行い、市教委に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メールや電話が通じない場合でも ○ 連絡がとれるようにしておく。 ○ 留守になる場合は、あらかじめ、知人へ依頼するなど児童帰宅後、なるべく一人にならない配慮をする。 ○ 余震が続く場合、可能な範囲で下校時間に合わせ自宅近くまで迎えに出る。
<p>震度5弱以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害報告あり。 ○ 壁や天井にヒビ、棚の本が落ちるなど。 ○ 立っていることが困難になる。 ○ 停電などが起きる。 ※ テレビやラジオ等の情報に注意し、熊谷市の防災計画に従って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯メールを配信し、ホームページに掲載する。 ○ 児童の無事を確認し、一時的に安全な場所に避難させる。 ○ 授業を打ち切る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ただし、震度5弱に限っては、施設設備等の安全が確認できた場合は、授業を継続することができる。下校については、下校時の注意をし、必要に応じて、地区別に一斉下校させる。 ○ 保護者の引取があるまで、一時的に学校で保護する。また、留守家庭等、状況に応じて留め置く。 <ul style="list-style-type: none"> ● 避難所開設への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館等の避難スペースの確保と受入の準備 ・ 臨時休校等の適切な措置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ メールや電話が通じない場合でも ○ 学校へ引き取りに来る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ただし、震度5弱に限って、授業を継続する場合は、連絡がとれるようにしておく。 ○ 余震が続く場合、可能な範囲で下校時間に合わせ自宅近くまで迎えに出る。 ○ 留守家庭等はあらかじめ、引き渡しカードに記入し、知人へ依頼しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童は、引き取る人が来るまで学校に留め置く。

連絡先：埼玉県熊谷市榎町343

TEL 048-521-0978 FAX 048-520-2892

学校における感染症の取扱について

学校保健安全法施行規則により、学校において予防すべき感染症（学校感染症）にかかった場合は出席停止扱いとなり、欠席にはなりません。医療機関を受診し、以下の感染症であると診断された場合は、学校へ連絡をしてください。（証明書等は不要です。）
出席停止…本人の休養のため、また、集団の場で感染症の流行を防ぐために学校を休ませるように学校長が指示するものです。

感染症名および出席停止の基準につきましては、以下の表を参考にしてください。

《第一種》

感染症名	出席停止期間の基準
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、特定鳥インフルエンザ（H5N1であるもの）、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症	治癒するまで

《第二種》

出席停止期間の基準は、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。

感染症名	出席停止期間の基準
インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで
麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身の状態が良好になるまで
風しん	発疹が消失するまで
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消失した後2日を経過するまで
結核	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	

第三種

感染症名	出席停止期間の基準
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
その他の感染症として、出席停止の措置が考えられる感染症 ・溶連菌感染症 ・ウイルス性肝炎 ・手足口病 ・伝染性紅斑（りんご病） ・ヘルパンギーナ ・マイコプラズマ感染症 ・流行性嘔吐下痢症（含 感染性胃腸炎） 等	

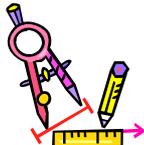
※現在、新型コロナウイルス感染症関連等も出席停止の措置を取っています。
（R5.5月～感染症法上の分類が変更予定のため、対応が変更となる場合があります。）

II 學習編



1 学習に使うもの

(1) ノートの選び方

	国語	漢字	算数	理科	社会	図工
	切り替わりがある学年は、その時期は担任から連絡します。		授業用と計算練習用の2冊用意してください。			
1年	10マス→ 12マス (十字点線入り)	12マス (十字点線入り)	横版 13マス×8行 (上に数字が書いてあるもの)→たて版 13マス×17マス			白無地
2年	15マス (十字点線入り)	12マス (十字点線入り)	横版 13マス×17マス			白無地
3年	18マス→ (十字点線入り) 12行 (中心線入り)	91字 (十字点線入り)	10mm方眼 	10mm方眼 (5mm方眼点線入り)	22行、 10mm幅の横線	白無地 
4年	12行 (中心線入り)	104字 (十字点線入り)	10mm方眼 	10mm方眼 (5mm方眼点線入り)	22行、 10mm幅の横線	白無地
5年	15行 (中心線入り)	104字 (十字点線入り)	8mm方眼 	8mm方眼	27行、 8mm幅の横線	白無地
6年	15行 (中心線入り) 	120字 (十字点線入り)	8mm方眼	8mm方眼	27行、 8mm幅の横線	白無地 

- ★ノートが終わりそうになったら、新しいノートを用意します。
- ★ノートは、学習の大切な記録です。定期的に家庭でご覧いただき、お子さんに励ましのことばをかけてください。

2 学習の準備

(1) 筆記用具の中に入れるもの

☆時間割や連絡帳を見て、前の日に準備する。

☆えんぴつ、筆入れ、下じき、定規などは、キャラクターなどの絵や柄の付いたものではなく、シンプルなものにする。

☆必要のないものは、持ってこない。



筆入れの中身（持ち物には名前を書きましょう。）

- ・ えんぴつ5本（2B～4B程度）※必ずけずっておく。
- ・ 赤色えんぴつ1本、青色えんぴつ1本
（4年生以上は、赤色ボールペン1本、青色ボールペン1本）
※ロック式のボールペンは使用不可。
- ・ ネームペン1本
- ・ 消しゴム1こ
- ・ 定規（15cmくらいのもの 折りたたみはさける。）



※箱型筆箱を推奨。

(2) 休み時間にすること

☆次の時間の準備をする。（授業終わりのあいさつの後に）

☆トイレ、水飲みをすませる。

☆手洗い、うがい、消毒をする。

☆授業に間に合うように、時計を見て行動する。



長い休み時間は、
元気に
外遊びをしよう。



うがい・手洗い
消毒をわすれずに。

(3) 用具のえらび方

◆学習用具には、使いやすいものや使いにくいものがあります。また、使い方によっては危ないものもあります。使いやすいものをえらび、安全に使いましょう。

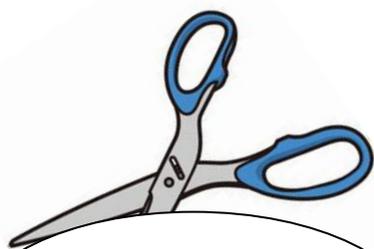
持ちものには、しっかり名前を書く。

① いろいろな勉強に使うもの

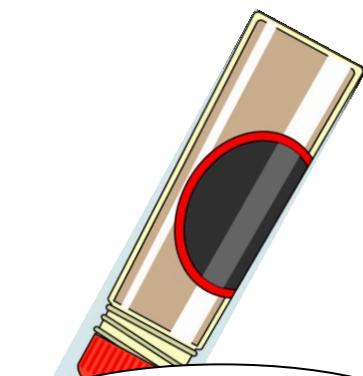
1～3年生 はさみ 液体のり クーピー クレパス 赤えんぴつ 青えんぴつ
 4～6年生 はさみ 液体のり クーピー 赤ボールペン 青ボールペン

*ノック式のボールペンは使用不可

※他に、ホチキス、セロハンテープもあるとよい。



刃（は）の方を持って相手にわたす。



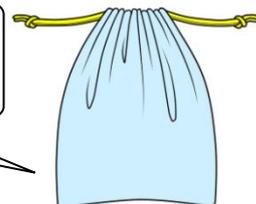
液体のり



絵や柄のついていないもので、12色以上のものを選ぶ。

<道具ぶくろの大きさ>

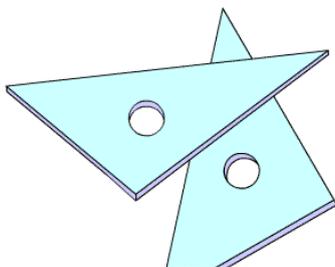
縦 25cm × 横 20～24cm



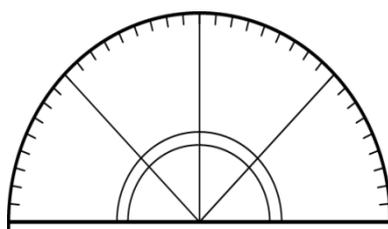
② 算数でつかうもの

1年生	定規			
2年生	定規	30cmものさし	三角定規	
3年生	定規	30cmものさし	三角定規	コンパス
4～6年生	定規	30cmものさし	三角定規	分度器 コンパス

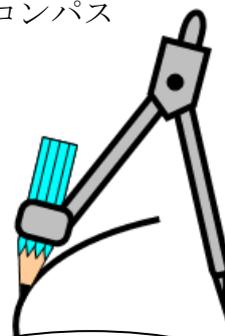
※線を引くときは、筆入れの中の定規を使う。



ケースに入れる。とがっている方を人に向けてはいけません。



ケースに入れる。



針にキャップをつけてからケースに入れる。針は人に向けてはいけません。

(4) 机の上の整理の仕方



☆机の上は、いつも整理して、学習や作業がしやすいようにしましょう。

休み時間



授業が終わったら、次の授業の準備をしましょう。机の右側に置きます。

授業中



教科書とノートを重ねて、机の上を整理して学習しましょう。



(5) 引き出しの中の整理の仕方

☆引き出しの中は、いつも整理して、教科書やノートが取り出しやすいようにしましょう。

登校したら・・・



1時間目の用具から順番に、上から入れておきましょう。

帰るときは・・・



学校に置いていくものは、左側に、整理しておきましょう。

道具箱に置いていくもの

- ・クーピー
- ・クレヨン
- ・名ふだ
- ・自由帳
- ・みんなのうた など

きれいだと気持ちいいね！



(6) 学校に置いておくもの

各学年で学校に置いておくものです。学年末には持ち帰ります。

低学年	中学年	高学年
絵の具セット	習字セット	習字セット
探検バック	(筆は持ち帰る)	(筆は持ち帰る)
けんばんハーモニカ	絵の具セット	絵の具セット
道徳の教科書	探検バック	探検バック
ドリル用ノート	けんばんハーモニカ	道徳の教科書
水ペン	道徳の教科書	地図帳
タブレット PC	社会の教科書・地図帳	保健の教科書
音楽の教科書	くまがやファイル	書写の教科書
書写の教科書	保健の教科書	家庭科の教科書・ノート
図工の教科書	外国語の教科書	外国語の教科書
粘土・粘土板	外国語のファイル	外国語のファイル
算数セット	書写の教科書	社会の教科書・資料集
	タブレット PC	けんばんハーモニカ
	理科の教科書	タブレット PC
	音楽ワーク	理科の教科書
	国語辞典	音楽の教科書・ワーク
		国語辞典

※基本的には学校に置いておきますが必要に応じて持ち帰る場合もあります。

3 学習の時間

(1) 本の持ち方



本を立て、両手で持ち、大きくはっきりとした元気な声で読む。

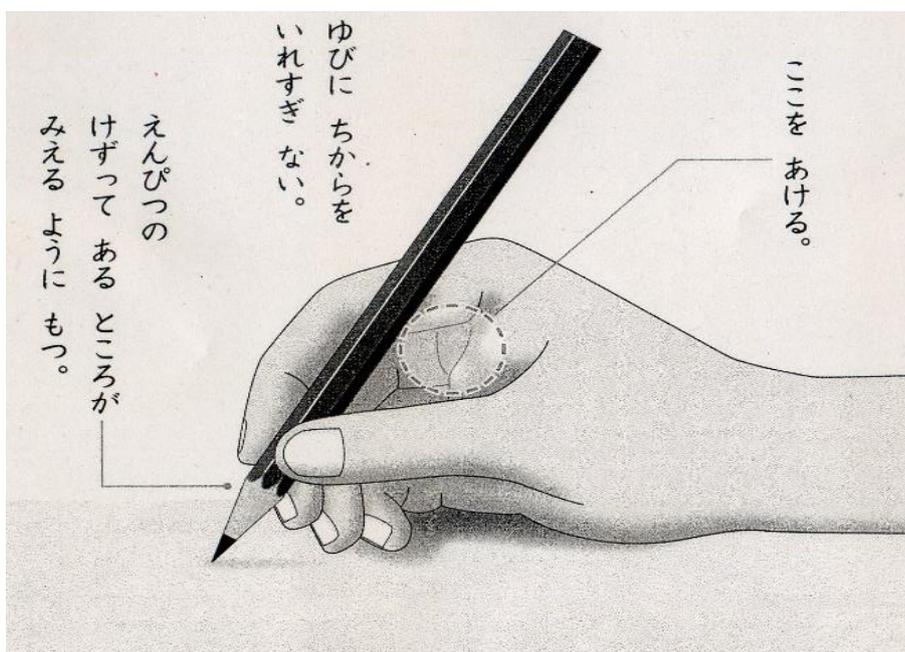
(2) いすの座り方



グー つくえとの間
ペタ 足うらペタ
ピン せすじをのぼして

(3) 鉛筆の持ち方

合言葉 「ゆびいっぽん てんしのわ」



(4) 授業の始まり方と終わり方

「起立」 「姿勢を正してください。」

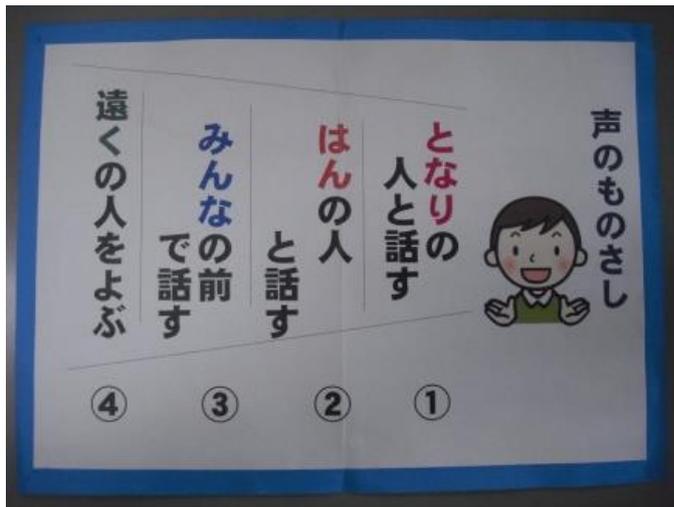
「礼」 (1, 2, 3…3秒)

(始まり)「お願いします。」 (終わり)「ありがとうございました。」

「着席」

終わりも着席し、次の授業の準備します。みんなが出来たら休み時間です。

(5) 声の大きさ



時や場所にあった声の大きさがああります。

(6) 発表の仕方①②③

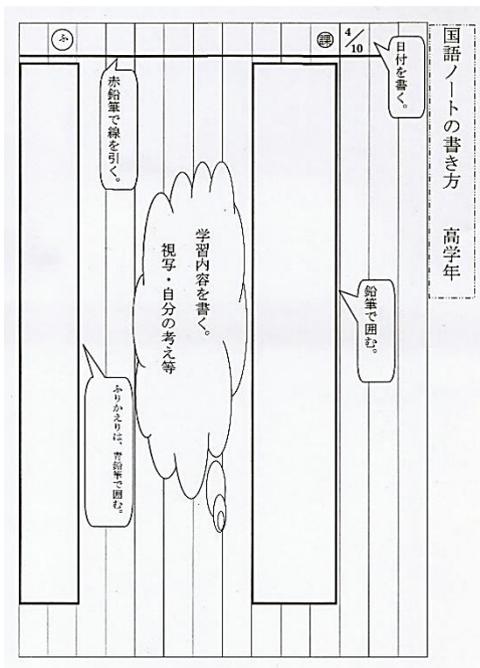
- ① 挙手をして、明るい声で「はい」は1回。
- ② 名前を呼ばれたら「はい」と返事をして立つ。
- ③ はっきりとさいごまで発表する。

(7) 話の聞き方あいうえお

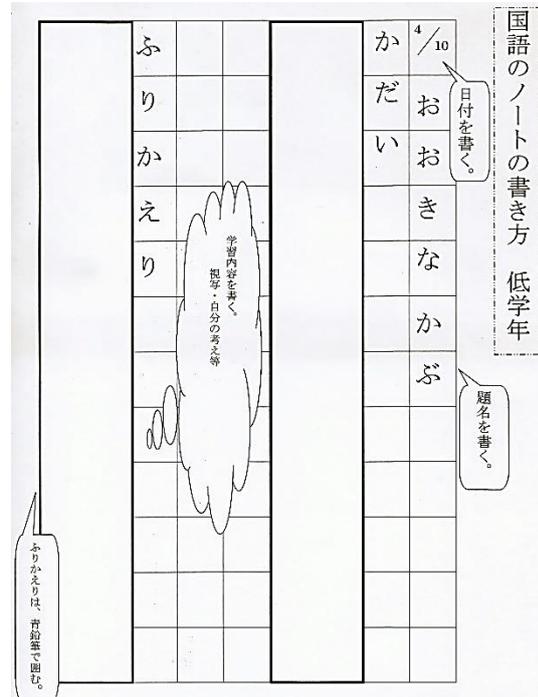
- あ 相手の目を見て (聞く)。
 い いっしょうけんめいに、どんな話か考えて (聞く)。
 う うなずきながら (聞く)。
 え えがおで (聞く)。
 お おわりまで (聞く)。

(8) ノートの使い方

国語ノート (高学年)



国語ノート (低学年)



社会ノート

<p>4/12</p> <p>課題</p> <p>教師の板書を中心に (オリジナルに)</p> <p>↓</p> <p>! なるほど</p> <p>? なぜと思ったこと</p> <p>☆ 調べる</p>	<p>↓</p> <p>まとめ (課題や学習問題に対する答え)</p> <p>重要語句、語句調べ (必要に応じて予習) (学習をふり返って自分で調べてみたこと)</p> <p>学習感想 (目標に対して)</p>
---	---

算数ノート (低学年)

ノートの例 (低学年)

2マス空けて赤線を引く赤線の左側には、日付、マーク、問題番号ページを書く。

① チューリップが17本さいています。あと4本さくと何本になりますか。

しき $17 + 4$

② $17 + 4$ の計算のしかたを考えよう。

答え 21本

① $17 + 4$

17 に 3 をたして 20
 20 と 1 で 21

② $18 + 4 = 22$

③ $19 + 7 = 26$

④ $48 + 3 = 4$ (crossed out)
51

⑤ 計算ぼうを使わなくてもたし算は数を分けるとできるとわかりました。

問題は黒線 (鉛筆) で囲む
わかっていることに青線
聞いていることに赤線

課題は黒線 (鉛筆) で囲む

まとめは赤線で囲む。

間違いや途中の計算は残す。

ふり返りは青線で囲む。

算数ノート (中学年)

ノートの例 (中学年)

2マス空けて赤線を引く赤線の左側には、日付、マーク、問題番号ページを書く。

問題は黒線(鉛筆)で囲む。
わかっていることに青線
聞いていることに赤線

課題は黒線(鉛筆)で囲む。

① 1こ 23 円のみかんを 34こ
買います。何円になりますか。

② 23 × 34 の計算のしかたを
考えよう。

③ 30 半分 23 × 30 = 690
4 半分 23 × 4 = 92
あわせて 690 + 92 = 782

23
× 34
92 ... 23 × 4
690 ... 23 × 30
782

230 460 690 □ (円)

0 10 20 30 34 (こ)

10 こ → 230 円
20 こ → 460 円
30 こ → 690 円
4 こ → 92 円 782 円

④ 23 × 34 の筆算のしかた

23
× 34
92
690
782

① 23 × 4
② 23 × 3
③ たし算
→ ずらす
(かいだん)

まとめは赤線で囲む。

筆算はマスを使い、
位をそろえる。
定規を使う。

ふり返りは青線で囲む。

⑤ 2けたをかける筆算も、1けたをかける筆算のくりかえしだと思いました。

算数ノート (高学年)

* 記入例は、6年生のノートを使用

ノートの例 (高学年)

2マス空けて赤線を引く赤線の左側には、日付、マーク、問題番号ページを書く。

問題は黒線(鉛筆)で囲む。
わかっていることに青線
聞いていることに赤線

課題は黒線(鉛筆)で囲む。

① 1週間前に生まれたねこの体重は現在
168gである。これは生まれた直後
の体重の160%にあたる。
生まれた直後の体重は何gだろうか。

② 数直線を使って求めよう。

③ 割合 160% = 1.6
もとにする量 → 1 = 100%

0 □ 168 (g)

0 1 1.6 割合

式 □ × 1.6 = 168
168 ÷ 1.6 = 105

A. 105g

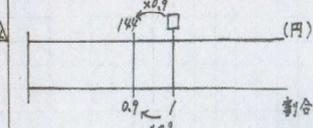
④ □ から 1.6 にするには × 1.6 をしなければならぬ。

⑤ □ を 168 にするには、× 1.6 をする
ことになる。だから、
□ × 1.6 = 168

④ 168 ÷ 1.6 = 105
だから答えは 105g になる。

まとめは赤線で囲む。

⑤ もとにする量を求めるときは、はじめに□を使ってかけ算にすると求めやすい。



式 □ × 0.9 = 144
144 ÷ 0.9 = 160

0.9 | 1440
9 160
54
54
0

A. 160円

間違いや途中の計算は残す。
筆算はマスを使い位をそろえる。
線は定規で引く。

ふり返りは青線で囲む。

⑥ 今日は、問題の中からもとを見つけ数直線に表しました。数直線とかくと式を出しやすいです。また、数直線には□を使ったかけ算の式が出ていて、それを使うと答えが求めやすかったです。

理科ノート

赤で線を引き日付
を書く。

問題、課題、予想、仮説、実験方法、実験結果、
考察の文字は、鉛筆で囲む。

<p>／</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>問題・課題は鉛筆で囲む。</p> <p>問題…～だろうか。 課題…～しよう。</p> <p>予想した根拠を書く。</p> <p>5.6年生は仮説を書く。明確な根拠があり、証拠が収集できる単元の時に書く。</p> <p>図や文で表す。 実験のやり方、手順、準備物、留意点を書く。 どのような結果になれば、予想したことが証明されるのかを書く。</p>	<p>／</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>図、表、モデル図、文等で表す。 変化の様子についても記録する。 結果とは別に、実験中に気付いたことも記録する。</p> <p>課題に対して実験結果からわかること、考えられることを記述する。 *結果の繰り返しにならないようにする。</p> <p>赤で囲む。</p> <p>青で囲む。</p>
---	--	--	---

ノートは学習後に見ても、どんな学習をしたのかがよくわかるように、ていねいに書きましょう。

じゅんぴ (9) 書写の準備の仕方

① 用具

もうひつ
<毛筆のとき>

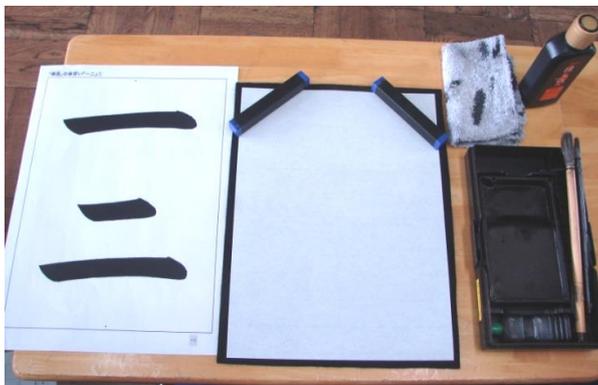
- ふで 大筆・小筆・筆巻き・すずり・ぼくえき 墨液・ぶんちん・下じき
- ぞうきん・新聞紙・紙ばさみ・手本・教科書・ごみ袋

こうひつ
<硬筆のとき>

- えんぴつ・下じき・クリップ
- 練習帳・手本・教科書

つくえ じゅんぴ ② 机の上の準備

- ふで 筆はすべておろす。(ねもと 根元までやわらかくしておく。)
- すずりや筆置きは、ふでお ケースに入れたまま出してよい。



じゅんぴ
準備は休み時間に
しておこう！



じゅんぴ 書きぞめの準備



うわばきはぬ 脱ぐ。

にもつ 荷物は自分の後ろに置く。

レジャーシートを下に敷く。

がせんし
お手本の下に画仙紙、新聞紙(紙ばさみ)
を置く。

がせんし
画仙紙と新聞紙の向きに気をつける。

③あとかたづけ

- ・墨^{すみ}…なるべく使い切るようにする。あまった墨^{すみ}はペットボトルに入れて持ち帰る。
- ・筆^{ふで}…新聞紙でふき取り、筆巻^{ふでま}きに巻^まいて持ち帰り、よく洗う。
- ・すずり…新聞紙でふき取る。

書きぞめ用のすずり（墨池^{ぼくち}）は、持ち帰り、よく洗う。

- ・練習用紙…紙ばさみにはさむ。紙ばさみがいっぱいになる前に家に持ち帰る。
- ・墨^{すみ}をふき取った練習用紙…ビニール袋にまとめて捨^すてる。
- ・清書用紙^{せいしょ}…評価^{ひょうか}カードをはり、かわいてから提出^{ていしゅつ}する。



④家庭での筆^{ふで}の洗い方

①バケツや洗面器に水をためる。
※ぬるま湯がよい。
※水道水を直接当てない。



②筆を回しながら押して、墨の水が出なくなるまで洗う。



③ほ先を整えて、かげ干しする。

⑤その他

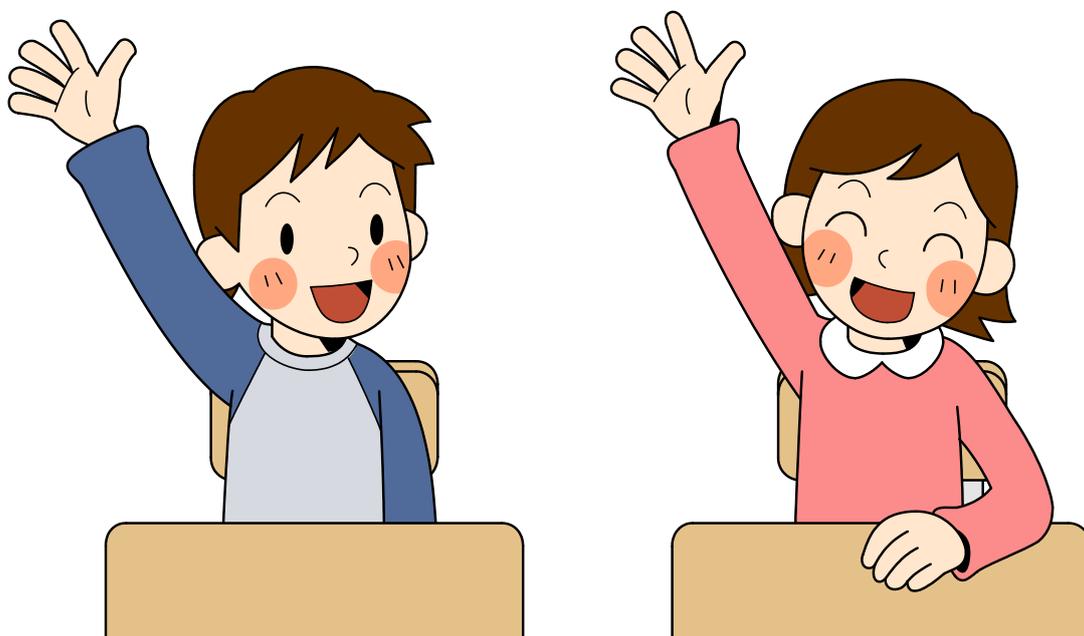
- ・書写の道具は、必要^{ひつよう}に応じて持ち帰る。（筆^{ふで}以外の道具は、学校^おに置いておいてもよい。）
- ・筆^{ふで}とごみ（自分のごみ袋に入れる）は、使った日^{かなら}に必ず持ち帰り、筆^{ふで}はその日のうちに手入れをする。
- ・墨液^{ぼくえき}が減^へってきたら、なくなる前に買っておく。

⑥水ペンについて（低学年）

- ・水入れに、水を入れておく。
- ・教科書の文字を鉛筆で練習したあと、鉛筆の先に、水ペンの筆をつけ、線や渦巻き、いろいろな文字を書いてみる。
- ・袋に入れ、学校に置いておく。

4 家庭学習の手引き

—自ら学ぶ子供を育てるために—



小学校での学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で児童の学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びてゆくと考えます。

保護者の皆様には、この「家庭学習の手引き」をご覧いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 家庭学習の意義

(1) 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

(2) 学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

(3) がまん強さ・根気・集中力をつける

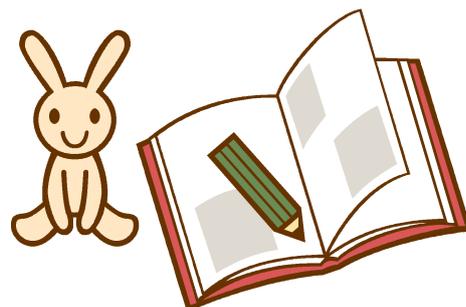
家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、「テレビを消す」「みんなで読書をする」といった家族全員の協力が必要です。

(4) 家族のふれあい

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてあげる」など家庭学習をしている子供に親が関わることによりコミュニケーションを図ることができます。家族のふれあいの機会が増えることは、子供の精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

(5) 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになると考えられます。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになるでしょう。小学生のうちからたくさん脳を鍛えましょう。



2 家庭学習のポイント

家庭学習の効果が上がるかどうかは保護者の皆様の姿勢が大きく関わってきます。子供のやる気を引き出すようなはたらきかけをお願いします。

(1) 決まった時間に毎日コツコツする

学校では、各学年に応じた宿題を毎日出しています。学校が休みの日でも例外ではありません。家庭学習はとにかく毎日続けることが大切なのです。習い事や外出等で予定が組みにくい日もあるかと思います。その場合は、先に済ませたり、テレビやゲームはなしにしたりするなどして時間を生み出すことも必要になってきます。家族で十分話し合い、実行してください。

(2) 集中して学習する

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間で集中して勉強することが長続きのこつです。学年×10分＋10分を目安にし、集中して頑張らせることを心がけてください。

(3) 家庭学習をしている時は、テレビを消す

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は厳禁です。また、テレビの音が聞こえるような環境も子供は集中できません。見たい番組はビデオに録画するなどして工夫し、静かに学習できる環境をつくってあげることが、保護者の役目です。

(4) 整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど気が散るようなものが近くにあっては学習に集中できません。親の目が行き届き、本人が安心して落ち着いて集中して学習できる環境づくりが大切です。

(5) 子供のがんばりを認め、ほめて励ます

親や教師が、子供のがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。つつい口うるさくなりがちですが、強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは逆効果になります。

(6) 学力アップは規則正しい生活から

「4つの実践」の中の「朝ごはんをしっかり食べる」ことは、生活リズムの大原則です。早寝早起きをするこも、生活のリズムを整えることに大切なことです。生活のリズムを整えることが学力向上につながります。夜遅くまで勉強して睡眠時間が少ない子よりも年齢に必要な睡眠時間を確保している子の方が成績がよいというデータもあるそうです。

学校でも家庭でも生き生き元気に学習に取り組めるように、早く寝かせ、早く起こし、朝ご飯をしっかり取らせてください。就寝時間は、それぞれの家庭の事情があるかもしれませんが、6歳～10歳は9.5～10時間、11歳から12歳は8～9.5時間の睡眠時間は確保したいものです。

3 学習の方法

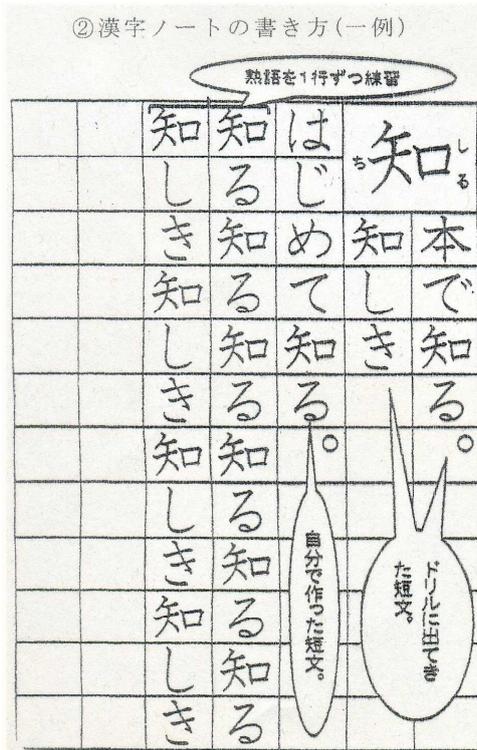
- (1) 担任から出る「宿題」を最初に取り組ませましょう。
- (2) 下記の自主学習参考例を参考にして、「自主学習」をしましょう。
- (3) どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かき等何でも構わないので、机から立ち上がらせず、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大切です。
- (4) 学習が終わったら、次の日を準備をさせてください。鉛筆削り、準備物をしっかり整え、明日の学習予定をしっかり頭に入れておくように心がけてください。

自主学習参考例

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を書く。 ・テストで間違えた漢字や言葉をノートに正しく書く。 ・意味調べをする。また、その用例を書く。 ・筆順に気をつけながら、漢字の練習をする。 ・授業で勉強したことを、もう一度ノートに写す。 ・教科書の文章を10～15分間視写する。 ・言葉や文をローマ字に直す。 ・ローマ字日記を書く。 ・新聞記事を読んで、自分の意見を書く。 ・言葉シートを使って文章を書く。 <p style="text-align: center;">(創作文・生活文)</p>	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のノートを写す。 ・授業で学習したことをノートにまとめる。 ・植物の観察記録をつける。 ・植物、魚、昆虫について調べる。 ・魚の体、人や動物の体のつくりを調べる。 ・水に溶けるものを調べる。 ・気温や雲の様子を観察する。 ・太陽、月、星の様子を調べる。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のノートを写す。 ・授業で学習したことをノートにまとめる。 ・学習した内容や関連した興味のある内容を本やホームページ等の資料などで調べる。 ・都道府県名、県庁所在地を書く。 ・特産物や伝統工芸を調べる。 ・日本の川、山脈について調べる。 ・歴史上の人物を調べる。 ・授業でやったところの教科書を音読する。 ・新聞記事を読んで、自分の意見や感想を書く。 	生活
音楽			<ul style="list-style-type: none"> ・音符などの記号を調べる。 ・曲からイメージする絵を描く。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの練習をする。 ・曲名や作曲者を調べる。
図工			<ul style="list-style-type: none"> ・工作などの設計図をかく。 ・さまざまな色を使って図形をかく。 ・想像した世界の絵をかく。 ・自然や物、人を見て絵に描く。 ・名画を見て、その物語を考えて書く。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した問題にもう一度取り組む。 ・覚えることを書く。 ・教科書の練習問題にもう一度取り組む。 ・ドリルをやる。 　　*すぐに答え合わせをし、間違えたところはやり直す。 　　*時には、時間を計って取り組む。 ・自分で問題を作って解く。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・料理の材料、栄養の要素を調べる。 ・ミシンの使い方をまとめる。 ・生活に役立つ物を作る。 ・栄養を考えた料理を作る。
		体育	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの種類やルールを調べる。 ・スポーツ選手について調べる。 ・速く走るコツ、ボールを遠くまで投げるコツなどを調べる。 ・男女の体の違い、病気予防、安全な生活について調べる。

4 学習のノート例

(1) 漢字ノートの使い方



漢字学習の仕方

漢字練習

(漢字ドリルの活用)

- 一 筆順をなぞり書き(空書き)します。
- 二 漢字ドリルに書き込みます。
- 三 漢字ドリルの筆順を確かめながら、漢字ノートに漢字を書きます。
- 四 漢字の音読みはかたかな、訓読みはひらがなで読み方を赤で書きます。
- 五 漢字ドリルや教科書の本文に出てきた熟語を書きます。
- 六 熟語を使って短文を作ります。
- 七 ノートに何度も練習します。
- 八 おぼえたかどうか自分でテストします。
- 九 まちがえた漢字を特に練習します。

(2) 計算ノートの使い方

赤ラインを引き日付を書く 筆算は互いに開けて書き、見やすくする

4/8			1			1			1	
計	3	①	2	4	②	3	1	③		5
			+	4	6	+	1	9	+	6
				7	0			5	0	7
				2				7		6
		④		3	7	⑤		8	7	⑥
			-	1	8	-	4	9	-	4
				1	9			3	8	2
										7

繰り上がり
繰り下がりを必ず書く

分数などは途中の式も
必ず書く
丸付けを必ずする

平成28年度優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進 文部科学大臣表彰

熊谷の子どもたちは、これができます！

アクセル

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

生きる力



大人が手本となって

ブレーキ

3減運動



スマホ使いの注意は
こちら

減

テレビの時間を
減らします。



減

ゲームの時間を
減らします。



減

スマートフォン・
携帯電話やパソコン
に触れる時間を
減らします。



家族で ↓ 約束を！

家族との会話の時間を
増やします。

読書の時間を
増やします。

予習・復習の時間を増やします。

熊谷市青少年健全育成市民会議・熊谷市幼保小連絡協議会・熊谷市PTA連合会・熊谷市校長会・熊谷市教育委員会

The Standards of Kumagaya Minami Elementary School

Attending Kumagaya Minami Elementary School makes you happy !